

第1回魚河岸地区周辺にぎわい創出推進委員会 結果概要

1.日 時

平成25年11月25日(月)午後6時00分から午後8時00分まで(120分)

2.場 所

釜石市役所第1庁舎 第2会議室

3.出席者

別紙出席者名簿のとおり (次第裏面)

4 内 容

別紙次第のとおり

5 協議内容

- (委 員) コンテンツの問題だと感じる。各地で類似施設が多々ある。もう少し施設の機能を明確にしてほしい。
- (委 員) シープラザは機能が混在している。魚河岸地区の施設も同じようになるのではないかと不安に思う。機能を明確にしたほうがいい。
- (事務局) 「飲食」「販売」に特化したほうがいいということか。
- (委 員) 体験学習と言っても誰がやるのか。魚河岸地区でできるのかということだ。
- (委 員) 現在は団体の観光客も少ない。中途半端な施設はよくない。イベントスペースについては、その規模にあったイベントを開催することは可能だ。スペース的には問題ない。
- (委 員) 魚河岸勉強会を通じて「飲食」をやりたい若手はいたのか。
- (室 長) 実施主体の選定には至っていないが勉強会を通じてそういった雰囲気を作れた。
- (委 員) 観光客向けの飲食店が少ない。そう言った部分も考えなければならない。若い新しい感覚が必要だと思う。
- (事務局) 釜石は「魚が高い」「食べる場所がない」のは何か理由があるのか。
- (委 員) お客様が安いと思う単価で売ればいい話だが、内陸に行ってしまう。安く提供している。
- (委員長) 勉強会で視察した千葉県の保田漁港はどういった仕組みなのか。
- (事務局) 保田漁港は地元漁協の直営で運営している。番屋2棟から始め、現在は多くの観光客を受け入れている。量のまとまらない鮮魚を定食等で提供している。
- (委 員) この施設には女性の力が必要なのではないか。
- (委 員) 漁協女性部としてやりたい気持ちはある。今は作って販売できるスペースがない。女性部の力が活かせると思う。お客様も喜んでもらえると思う。
- (委 員) 施設があって2~3店舗あればにぎわいが出てきそう。
- (委 員) 震災前には海員会館の機能をそのまま残す、シープラザ遊(テント)の移設など様々な意見が出されたと記憶している。11月7日のワークショップでは駐車場の問題も出された。魚河岸地区全体で考えるべき問題だと思う。「食」も割高である。市で分析も必要なのではないか。
- (委 員) 久慈市でユニプロジェクトを実施した。客とのふれあいの中で生産者の考え方が変わった。産直をやりたいと言った意見が出たり、付加価値を付けることについて新たな動きが出た。魚河岸もそうなってほしい。生産者と消費者が直接、触れ合うことの大切さを感じた。また第3回目のワークショップで用地が狭いと意見が出されていた。背後地の水産加工場に

「食」の機能を持たせ、一緒に取り組んでいける仕組みが必要と感じた。

- (委員) 背後地の水産加工場の誘致はどうなっているのか。
- (室長) 詳細な情報はお出しできないが、担当課で動いている。
- (委員) 早急に進めてほしい。
- (委員) 釜石には多くの魅力がある。外に発信できればいい。そう言った意味でFP3は面白い計画だ。外からは「美味しいものを食べたい」と思っている。「食」が中心となっている。「ここでしかできないこと」が大事で、多少施設が汚くても美味しくて安いものを提供して魅力を発信してほしい。
- (委員) 宿泊客が朝ごはんを食べるところがない。ニーズはある。
- (委員) 保田漁港にはそういった機能があった。番屋2棟で始まった食堂は漁民の福利厚生施設だった。それが地元の人に認知され、広がった結果多くの観光客が来るようになった。デザインや見栄えではなく人が集まる仕組みがある。ぜひ、皆さんにも見て頂きたい。
- (委員) 魚は新鮮さだと思う。魚河岸にぎわい施設には海水を引き込めるようにしてもらいたい。活魚を提供できる機能が重要だ。
- (委員) 泉地区のケーソンヤードは波もなく安定した場所だ。
- (委員) 繰り返しになるが、今の釜石に必要なのは若い人が参加する、参加してもらえるような仕組みが大事だ。
- (委員) 駐車場利用者の安全対策を考える必要がある。車で来る場所なのでそれを前提に避難経路を設定する必要がある。防潮堤海側の駐車場(兼イベント広場)は非常時に水門を通らなければならない。歩いて逃げるのが前提だが、車で逃げると思う。防潮堤のラインを変更することも考えるべきではないか。
- (室長) これまで様々な議論を重ね設定したラインである。
- (委員) 魚市場関係者の駐車場は現在の1/3程度あればいい。
- (委員) 要望があればお聞きして変更することも可能だ。
- (委員長) 魚河岸にぎわい施設の内容については特に反対はなかったように思うが、本日、委員から出された意見等を集約していただきたい。第2回目の委員会では、運営やアクションプランについて事務局からもう少し具体的なものを提示して頂いた上で議論したい。
- (室長) 次回、第2回委員会は平成25年12月26日(木)同時刻に開催する。

閉会